

IV 事業概要

4 連携事業

(1) 共催事業

① 第31回知能ロボットコンテスト・フェスティバル2019

(ア) 開催形態 主催 ロボット競技会実行委員会, メカトロで遊ぶ会

共催 仙台市教育委員会, 日本ロボット学会, 東北学院大学産学連携推進センター

(イ) 期間 令和元年6月15日(土)～16日(日) (ロボコンJrは15日(土)開催)

(ウ) 会場 1F市民の理科室, 2F特別展示室, 3Fエントランスホール

(エ) 内容 「知能ロボットコンテスト」と「ロボコンジュニア」の2つの競技から構成されている。「知能ロボットコンテスト」は多数の国内のロボット大会の中でも長い歴史をもち、人為的操作のない完全自律制御ロボットによる高度な競技大会である。「ロボコンジュニア」は小型自律走行ロボット「梵天丸」をベースにした小・中学生を対象の競技会である。大学教員, 学生, 有志によるボランティアをベースにした実行委員会によって運営されている。(Intelligent Robot Contest <http://www.inrof.org/irc/>)

a) 第31回知能ロボットコンテスト

ロボットが行う競技として次の2種目がある。総勢87台が競技会に参加した。

・【チャレンジコース】 参加数63台

スタート時に競技者に渡される1個, 競技台上に散乱している3色のボール各5個(計16個)を競技時間内にできるだけ多く選別しそれぞれ指定されたゴールに入れることを競う競技。

・【マスタースコース】 参加数12台

スタート時に競技者に渡される1個の自由ボールと, 競技台上に配置されている対象物(ウォーターボトル, ボールピラミッド, 空き缶等)を, それぞれ指定されたゴールに, 競技時間内にできるだけ多く運ぶことを競う競技。

b) ロボコンジュニア2019 (<http://toro.inrof.org/robocon/index.html>)

・【ジャストストップ】

梵天丸を使ってスタートラインからスタートし, 奥にある壁まで直進して壁を感知したら180度回転して再びスタートラインまで戻って止まる競技。ゴールした位置と時間の正確さを競う。

(オ) 観客総数 1,330名

